

学校運営協議会議事録

校名	府立八尾北高等学校
校長名	山下 尚亮

開催日時	令和6年6月26日(水) 15:30~17:00
開催場所	府立八尾北高等学校 西館 1階 会議室
出席者(委員)	野口 幸一会長、山内 雅之副会長、福井 志朗委員 井上 敏美委員
出席者(学校)	校長・教頭・各分掌長・各学年主任・各主担・初任者(書記) 合計(10)名
傍聴者	なし
協議資料	学校運営協議会次第、学校運営協議会実施要項、進路状況報告 令和5年度学校経営計画及び学校評価、令和5年度スクールポリシー案、令和6年度重点目標
備考	

議題等(次第順)

1. 校長挨拶
2. 委員紹介、出席者紹介
3. 事務局からの説明
本日の時程、配付資料の説明
4. 協議
令和6年度 学校運営協議会回腸および副会長の承認について
5. 報告・質疑応答
(1) 今年度の学校の動きについて
(2) 令和6年度分掌・学年等重点目標
(3) 令和6年度学校経営計画について
6. 連絡

協議内容・承認事項等(意見の概要)

1. 校長挨拶
学校を取り巻く状況について
① 大阪府私学高等学校の授業料無償化と少子化の影響で定員割れ
学校広報について、現在の取組みに追加し、SNSの積極的活用を検討している。
② 教員の働き方改革について
電話の時間外自動音声化、水曜日の定時退庁日の設定により、在校等時間が大幅に縮減した。
追加して登校時間と下校時間の見直しを行っていく。
学校を取り巻く状況の改善には、皆様の協力が必須です。様々な意見をお願いします。
2. 委員紹介、出席者紹介
3. 事務局からの説明
・本日の時程
・配付資料確認
4. 協議
令和6年度 学校運営協議会会長および副会長の承認について
・今年度も引き続き、野口会長、山内副会長で承認された。
5. 報告・質疑応答
(1) 今年度の学校の動きについて
① 卒業生の進路状況
進学: 四年制大学への進学者については、学部は経済経営が中心であり、心理・医療・福祉系も増加している。
コロナ禍が過ぎた影響か、国際関係への進学も上昇した。
一方で短大への進学者は減少傾向である。
就職: 職種としては生産労務が人気。販売も増加傾向にある。
福井委員(感想): 介護は人手不足、外出するときのヘルパーが不足している。
高校生から介護をめざす子たちがもっと増えたらいいなと思っている。
山内副会長(質問): 国際関係の進路指導に関して何か特別なことをしているか?
(回答): オアシス生徒が身近にいること、身の回りに外国語や文化の違いを感じる環境があることが、強みになっている。
野口会長:
・国際関係の学部がV字回復した。
・本当の進路未決定の生徒はいるのか。
(回答): なんとなくフリーターは少ない。自分のやりたいことが学校斡旋就職内にないので、なにかやりたいことのためにフリーターをしている。

② 3年生(40期)

彼なりに体育祭をしっかり引っ張ることができた。
いわゆる「燃え尽き」による欠席は今年度は少なかった。
まだ文化祭や、就職指導、夏期講習等あるので頑張りたい。

③ 2年生(41期)

遅刻・欠席が多かった。生活リズムの乱れが目立っているのが心配だったが、最近ようやく落ち着いてきた。
今週から試験なのでしっかりと動いていきたい。
進路に関する意識は、中学時代がコロナ禍だったことも影響しているのか、低い傾向にある。
修学旅行は(12月)沖縄に行く予定である。1週間後に保護者に向けた説明会がある。

野口会長:1期生のときは自己肯定感が低い子が多かった。

こういう行事をきっかけに自己肯定感が高まるきっかけになれば。

④ 1年生(42期)

「一生懸命」をテーマに動いている。遅刻をしない、授業をしっかり受けるなど「当たり前」のことを根付かせようとしている。

⑤ 体育祭

グラウンドで開催。雨の影響で1度延期した。
当初は金曜に開催する予定だったが、月曜に延期したことで、土日の間に予行の疲れを回復できたのではないかと。
8時時点で設営完了。生徒の協力もあり、余裕を持って設営することができた。
応援合戦も盛り上がった。生徒たちは他団の応援もしっかりと見ることができていた。
例年どおり、体育祭に懸ける情熱がすごかった。

井上委員:8時を過ぎてからの延期連絡は、仕事をしている保護者にとって遅いという声が多かった。

観覧のため休暇を取っている保護者にとってはより早い連絡が望ましい。

熱中症予防として、PTAによる給水の機会を多く設けることができた。今後も継続していきたい。

(2) 令和6年度分掌・学年等重点目標

① 学習指導部

(質問):ICT機器はどの授業でも100%使っているものか?

(回答):各教科によって活用方法は違うが、使用頻度は多い。
今年度は1人1台端末のさらなる活用を目標に取り組んでいる。

② 生活指導部

SNSについて、携帯を常に見ていることでコミュニケーション不足・人を傷つける事に関する注意喚起
SNS講演会の効果はわからないが、あまり学校内でそのようなトラブルは少ない。

③ 自主活動

(質問):生徒会は前向きな立候補が多いのか?男女比率は?

(回答):多い。男女比率は男:女=2:4である。主な仕事は体育祭と文化祭。
活躍している(表彰されている)部活動もある。

④ ガイダンス

社会への扉の内容について

現2年から自己理解に焦点をおいて変えている。自分の事をよく知ろう、自分の人生設計に重点をシフトしている。

⑤ 総務部

去年、今年のPTAは、力を合わせてできていると思う。

井上委員:PTAの勧誘方法について、PTA側の要望が担任に伝わり切っていない。

PTAには学校をより良くしたいと思って入っている。一層の声掛けをお願いしたい。

⑥ 保健指導部

SSWはおよそ月1回、SCは今年度重点配置校であるためおよそ週1回来ていただいている。

SSW、SCともに利用はたくさんある。養護教諭が2名配置であるため、他校よりも手厚い対応ができている。

また今年度は保健主事が教育相談コーディネーターを兼ねず、別に配置している。

⑦ 人権教育主担

(質問):日本語指導が必要な生徒のうち、一般選抜で合格した生徒は、特別選抜で合格した生徒と同じ対応なのか。

(回答):今は学校努力で一緒にやっている(1年生で22名)が、次年度以降は選抜の種類により対応できない可能性もある。人数が増えていけば学校努力だけでは難しい。

(質問):差別部落問題以外にも現代的な課題があるが、八尾北が重点においているものは?

(回答):3年間で系統立てて様々な問題に取り組んでいる。

特にインターネット上の差別事象についても取り組んでいる。

⑧ その他

福井委員:八尾の学校の方々等、交流の場所や機会をさらに設けていきたいと考えている。

ゆうとおんと八尾北の交流の機会をもつことができれば。

自分たちの障がいのことについて伝えられればと思っている。

山下校長:見学会等を計画していると思いますので、よろしくお願いします。

(3) 令和6年度学校経営計画について

ポイントと進捗状況

[3] 本年度の取組内容及び自己評価について

1

- ① 先生たちが集まって自主的に授業改善チームを作り、授業改善に取り組んでいる。1人1台端末の活用も積極的に取り組んでいる。1人1台端末というものは、コロナの感染予防対策ではなく義務教育におけるGIGAスクール構想が発端であり、大阪府は高校でも積極的に行っている。
小・中学校では、すでにスーパーノート、スーパー鉛筆として1人1台端末を使っており、大学では論文作成にICT機器は欠かせない。高校だけ空白になるわけには行かないので、積極的な活用が求められる。
- ② SCが困っている生徒たちの対応をしている。生徒も、教職員に言えなくとも専門家になら言えることもあるのではないかと。
- ③ 「八尾北向上委員会」を設置している。管理職は教頭のみで、有志の先生で構成されている。
学校内の働き方改革による時間外勤務削減、他校から来られた先生方の経験を取り入れ、よりよい八尾北高校をめざしている。

2

- (1) 社会への扉の生徒満足率が少し上昇。実際に生徒にマッチしているものを取り入れたい。
⇒子どもたちが社会につながっていく取り組みで子どもたちの満足度としては学年が上がるごとに高くなっている。
自己診断結果も非常に高い肯定率が出ている。
- (2) 文化祭は地区の方々にも出てもらっている。

3

- (1) 中学校訪問は全教員で行っている。八尾北高等学校の売りである面倒見の良さが出る取り組みである。
⇒大阪府がSNSに関する使い方の研修会を予定。個人情報保護の観点も含めて考えていきたい。
- (3) 幼・保・小・中・高の連携を大事にしたい。桂中学校や保育園に出張授業をする等々地域連携という形で継続していきたい。
福井委員：可能であれば学校の食堂等でビオトープ内で栽培した野菜等を使っていきたい。

<最後に>

山下校長：SNSの活用はしていきたいが、公式として公立高校が運営していくことの難しさがある。
野口会長：私立の無償化によって、公立高校はより大変になってきているが、働き方改革の登校時間指定について、働きがいまで奪うような状況になってはいけない。

次回の会議日程

日時	令和6年11月13日(水) 14:20～16:00
会場	府立八尾北高等学校 西館 1階 会議室